

# 磐城大衆新聞

毎月二回 一日十五日發行  
 定價 一部十錢  
 廣告料 一行五十錢  
 場所指定十錢増  
 發行所 長谷川兵衛  
 印刷所 長谷川兵衛  
 編輯人 長谷川兵衛  
 福島縣平町材木町三十六番地  
 發行所 磐城大衆新聞社

## 重役階級の將來に就て

### 將來の實業家の特色

斯くの如く實業家階級の存続の動機だけから出發し仕は如何なる社會組織にあつてゐるのでなく、少からずつとも恐らく消滅しないで創造の動機に支配され社會のあらゆる但し將來の實業家奉仕の動機から或は個人的の刺戟よりも寧ろ創造の動機でないか、諸君が少しく機に働かねばならぬこと、徹底した眼識を以て其の傾立つてゐる實業家が消滅する深き暗示を與へられるに違ふこと、以上の二點に於てひない。何んとなれば營利今の實業家と異つた、面目本位の生産組織が公共の利益を發揮するものと思ふ。否益本位に轉化して行くと云十年二十年の將來を論ぜず、事實は實に漸進的社會改造も既に今日の實業家階級に導かなければならぬ等の行動と云ふものはある。

## 夏井村長に

### 阿部龍藏氏當選

夏井村長根本莊橋氏は満期の結果阿部龍藏氏が當選就て以て辭し後任村長の選定に任する事に決定したに關し村會を招集して選舉

## 夏井村會議員

### 改選の結果

#### 當選者左の如し

石城郡夏井村村會議員選舉の結果左記十二名當選すは定員十二名に對し十三名大和田清治、大和田喜宗、の立候補で去る六月五日開 矢吹豊、鶴沼常藏、小林半

## 狂句

湯本町 可笑

一二七ツ入れて當選術擧り

おくれ走を石川ほとり五九ろさま 石川

かけ競へ貧乏神を追ひ抜いて

際どふ極む福之神かな 福田や

丸やたび賢司の譽れ高ふして

毎日客は十ダースあり 丸や

まるやより名前は一ツ下なれど

得票數は二ツ上なり 木村

孝平に身は若松の元氣にて

鹿は一矢に見事射止むる 米や

與市は弓箭を以て扇を封め

佐市は吹矢を以て鹿を捕ふ

二回の九千で戦勝し

矢吹は百中に當選す 矢佐

小井戸から七八七五三大を成し

な泉は高所より湧き出で

源造は高點にて選み出る

才松につる巢籠りて七日に

強敵を見事亡す六の六 上川 可笑

## 平窪村議

### 當選者左の如し

石城郡平窪村村議改選は去本幸四郎、小野久四郎、高六月十一日役場内に於て田彌勇、吉田丈助、鈴木重執行されたが定員十二名、次郎、鈴木庄助、高橋彦治對し十三名の立候補で開票矢吹初彌、木田源吉、松崎の結果左記十二名當選す 松本金治、藁谷藤太郎、坂

## 平町材木町附近に

### 中年増の高等

賣婦あらはれ

其の毒牙に罹りしもの

十數名中には知名

の紳士杯もある

平町材木町附近に中年増の怪階級の某々氏十數名で美人が現はれ巧みに鼻下長ると聞く處に依ると其の婦連を綾釣り盛んに其の毒手人は先天的の淫婦で此れまを振るへ内郷村の某温泉場でも幾度か話題に上りし事を根城とし時には平町の待ありしも最近は一層猛烈と合等にもあらはれ一流の怪なりと殆晝夜の別なく其の腕を伸して獨特の風紀を紊道に没頭し盛んに風紀を亂してゐるが其の毒牙に罹りしつゝあるは社會風教と觀せしめの中には本町通りの過すべからざる問題である有名なる某紳商、江名町の某材木町附近で専ら評某魚業家、其の他平町の知判である

## 小名濱町議

### 立候補者二十名

#### 政民入乱て大混戦

小名濱町會議員の改選も愈小野晋平、野崎庄太郎、水々明後十七日に迫り政民兩野政次郎、小野徳藏、中野派とも演説會に文書戦にお鐵之助、伊藤隆治、小野務らゆる秘術を盡して一大猛平、小松重兵衛、立花雄七闘を演じつゝあるが定員十小濱長太郎、草野良太郎、八名、對立候補二十名で最江尻甚太郎、藤莊大一、岡後の榮冠を荷ふは誰々であ山重喜、松本徳次郎、堀越るか今から豫斷を許さぬが 新平、熊谷寅次郎、小松方候補者は左の諸氏である

## 當選御禮

内郷村會議員

佐藤三平

## 當選御禮

内郷村會議員

加藤丈夫

小名濱町會議員候補者

小野晋平君

人格識見卓越し町治に對する功勞多き努力の士として推薦す  
 何卒有權者諸君の御同情に懇ふ

小名濱町 福尾伊太郎

# 當選御禮

夏井村會議員 (順不同)

酒井 衆吉  
大和田 清治  
大和田 喜宗  
矢吹 喜藤治  
矢吹 豊  
鵜沼 常造  
小林 半治  
高木 泰造  
渡邊 佐重  
鈴木 幸吉  
山名 仙之助  
青木 勇次郎

# 當選御禮

豊間村會議員 (順不同)

比佐 熊吉  
馬目 常吉  
阿部 源兵衛  
永山 喜作

# 當選御禮

平窪村會議員 (同不順)

坂本 幸四郎  
小野 久四郎  
松本 金治  
藁谷 藤太郎  
高田 彌勇  
吉田 丈助  
鈴木 重次郎  
鈴木 木庄作  
木田 源吉

江名中ノ作鐵工所

吉田 正雄

良品廉賣に勝る商略なし

磐城平町五丁目

磐城セメント株式会社特約代理店

和洋銅鐵 久釜屋商店

電話 九番 一三九番

振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は久の生命なり

ユラノスケ純粕取焼酎發賣

二合白瓶二十五錢 (空瓶交換仕候)

平町四丁目平驛前通り

永山酒造店總發賣元

電話 二〇七番

## 特賣

◎たひら正宗

◎花春

醬油釀造元

鹽屋 山崎合名會社

平町 (電話一〇番)

鯉節蒲鉾製造

折詰類仕出し

藤市號

遠藤市松

平一丁目 (電話三〇五番)

## 器械體溫計無料検査

新設體溫計無料検査  
皆様のお手元まで御覽に入れました引札の如く今回最新優秀なる検定器を設置し無料で検査いたしますから御遠慮なく御持参を願ひます

(検査日毎月十日)

平町二丁目 (電話三番)

指定販賣店 西村藥舖

内郷村 小島

薄硝子製造所

薄源次郎

平一丁目

足袋仕立物  
メリヤス類

齋藤商店

商號 丸屋

## 故長井博士の推奨せる

一別府鑛水 萬病の靈藥 (定價壹圓也)

一溫泉エキス (定價壹圓也)

(二名アンマイラズ)

神經痛 リウマチスの大妙藥

平町五丁目角

地方一手販賣店 山野邊藥局